



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 日本化薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4272 URL <http://www.nipponkayaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 萬代 晃

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ経理本部経理部長 (氏名) 下山 政行

TEL 03-3237-5270

四半期報告書提出予定日 平成26年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	118,482	—	18,233	—	20,913	—	13,400	—
25年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 20,800百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	73.94	73.93
25年3月期第3四半期	—	—

当社は、平成25年3月期より連結決算日を5月31日から3月31日に変更いたしました。これに伴い、平成25年3月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、対前年同四半期増減率及び25年3月期第3四半期の連結経営成績(累計)については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	244,662	177,288	67.8
25年3月期	224,705	160,454	66.9

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 165,811百万円 25年3月期 150,237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	—	24,000	—	27,000	—	16,500	—	91.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

前連結会計年度は、決算期の変更により、平成24年6月1日から平成25年3月31日までの10ヶ月間となっております。このため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	182,503,570 株	25年3月期	182,503,570 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,280,131 株	25年3月期	1,247,305 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	181,239,007 株	25年3月期3Q	— 株

当社は、平成25年3月期より連結決算日を5月31日から3月31日に変更いたしました。これに伴い、平成25年3月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、25年3月期第3四半期の期中平均株式数(四半期累計)については記載しておりません。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期 純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
平成26年3月期第3四半期	118,482	18,233	20,913	13,400	73.94
(参考) 前年同一期間 ※	110,571	15,514	17,508	10,322	56.95
調整後増減率 ※	7.2%	17.5%	19.4%	29.8%	29.8%

(単位：百万円)

	機能化学品事業		医薬事業		セイフティシステムズ事業		その他	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益
平成26年3月期 第3四半期	54,343	8,726	39,066	8,855	19,862	4,020	5,210	945
(参考) 前年同一期間 ※	50,743	8,443	38,376	8,354	15,045	2,140	6,406	1,021
調整後増減率 ※	7.1%	3.4%	1.8%	6.0%	32.0%	87.8%	△18.7%	△7.4%

※ (参考) 前年同一期間は、当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日)に対応する前年の同一期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日)であります。
調整後増減率については、「前年同一期間」との比較で記載しております。
(前年同一期間において、当社及びすべての連結対象会社は平成24年4月1日から平成24年12月31日までを連結対象期間としております。)

以下、「前年同一期間」との比較で記載しております。

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)の世界経済は、米国では順調に景気が回復し、欧州でもようやく景気底入れの兆しが見え始めました。中国および新興国では成長のペースが鈍化したものの継続的な成長が見られました。日本経済は、円安による輸入原料の価格上昇や電気料金の値上げ等の下振れ懸念を抱える一方で、政府の経済政策の影響により景気回復の動きが広がっています。

このような状況の中、当社グループは本年度よりスタートさせました新中期事業計画“**Challenge100A!**”の成長シナリオと中長期重点課題に取り組み、重点事業への経営資源の最適配分、既存事業の用途拡大、海外展開の強化に加え、収益体質の強化を目指し、一層のコストダウンを推進しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、機能化学品事業、医薬事業、セイフティシステムズ事業が前年同一期間を上回ったことにより、1,184億8千2百万円と前年同一期間に比べ79億1千万円(7.2%)増加しました。

営業利益は、売上高の増加と原価率の改善により、182億3千3百万円と前年同一期間に比べ27億1千9百万円(17.5%)増加しました。

経常利益は、円安による為替差益などにより、209億1千3百万円と前年同一期間に比べ34億4百万円(19.4%)増加しました。

四半期純利益は、134億円と前年同一期間に比べ30億7千7百万円(29.8%)増加しました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

【機能化学品事業】

売上高は543億4千3百万円と前年同一期間に比べ35億9千9百万円（7.1%）増加しました。

機能性材料事業は、半導体封止材用エポキシ樹脂および米国マイクロケム社が前年同一期間を上回りましたが、紫外線硬化型樹脂、フィルム関連製品は前年同一期間を下回りました。機能性材料事業全体では前年同一期間を下回りました。

デジタル印刷材料事業は、インクジェットプリンタ用色素がコンシューマー用途は停滞しましたが、産業用途が伸長したため前年同一期間を上回りました。感熱顕色剤は前年同一期間を下回りました。デジタル印刷材料事業全体では前年同一期間を上回りました。

色材事業は、国内向け繊維用染料が低迷し前年同一期間を下回りましたが、捺染用色素および中国を中心とした海外向け繊維用染料が伸長したため前年同一期間を上回りました。

触媒事業は、顧客の触媒交換時期の谷間であったため、前年同一期間を下回りました。

ポラテクノグループは、染料系偏光フィルムが伸長したため前年同一期間を上回りました。

セグメント利益は87億2千6百万円となり、前年同一期間に比べ2億8千3百万円（3.4%）増加しました。

【医薬事業】

売上高は390億6千6百万円と前年同一期間に比べ6億8千9百万円（1.8%）増加しました。

国内向け製剤は、「カルボプラチン点滴静注液NK」「パクリタキセル注NK」「ビカルタミド錠NK」「アナストロゾール錠NK」などの抗がん薬が伸長し前年同一期間を上回りました。「エキセメスタン錠NK」（抗がん薬）「グラニセトロンNK」（制吐剤）「メタストロン」（放射性医薬品）は前年同一期間を下回りました。昨年7月より販売移管を受けた「イムノブラダー勝注用」（抗がん薬）が売り上げに寄与し、国内向け製剤全体では前年同一期間を上回りました。

輸出は、ブレオ類（抗がん薬）や輸出用原薬が前年同一期間を下回りました。輸出全体では前年同一期間を下回りました。

国内向け原薬は、醗酵品原料は前年同一期間を上回りましたが、医薬品原料等が前年同一期間を下回りました。国内向け原薬全体では前年同一期間を上回りました。

診断薬は、前年同一期間を上回りました。

セグメント利益は88億5千5百万円となり、前年同一期間に比べ5億1百万円（6.0%）増加しました。

【セイフティシステムズ事業】

売上高は198億6千2百万円と前年同一期間に比べ48億1千7百万円（32.0%）増加しました。

国内市場ではエコカー補助金終了による需要減が当第1四半期にあったものの、当第2四半期以降は需要が回復しました。

また北米での自動車販売の回復による需要拡大や、新興国での自動車安全部品への需要拡大などによりエアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレーター、スクイブともに前年同一期間を上回りました。

セグメント利益は40億2千万円となり、前年同一期間に比べ18億7千9百万円（87.8%）増加しました。

【その他】

売上高は52億1千万円と前年同一期間に比べ11億9千5百万円（18.7%）減少しました。

アグロ事業は、国内、輸出とも前年同一期間を下回りました。

不動産事業は、前年同一期間を下回りました。

セグメント利益は9億4千5百万円となり、前年同一期間に比べ7千6百万円（7.4%）減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

総資産は2,446億6千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ199億5千6百万円増加しました。主な増加は有形固定資産68億1千9百万円、投資有価証券58億6千4百万円、現金及び預金37億4千6百万円、たな卸資産32億2千7百万円であり、主な減少は有価証券10億7千2百万円であります。

負債は673億7千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億2千2百万円増加しました。主な増加は短期借入金51億8千9百万円、繰延税金負債14億8千9百万円であり、主な減少は長期借入金33億2千7百万円であります。

純資産は1,772億8千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ168億3千4百万円増加しました。主な増加は四半期純利益134億円、為替換算調整勘定33億2千2百万円、その他有価証券評価差額金25億1千8百万円であり、主な減少は配当金36億2千5百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、世界経済は米国では引き続き堅調に推移し、欧州では全体としては緩やかな回復へ向かい、中国では安定的な成長が期待されます。国内経済は消費税増税に先駆けた駆け込み需要が見込まれ、公共投資の増加等による継続的な景気回復が期待されます。当社グループは事業環境の変化に対応できる強固な収益体質を構築するとともに、環境・省エネルギー関連材料や抗がん薬内包高分子ミセルの研究開発の促進など新たな成長市場への展開を加速させ、収益の拡大を図ってまいります。

なお、平成25年11月11日に公表いたしました平成26年3月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,120	29,867
受取手形及び売掛金	51,209	52,164
電子記録債権	—	926
有価証券	14,361	13,289
商品及び製品	19,542	22,243
仕掛品	2,072	1,823
原材料及び貯蔵品	7,998	8,773
その他	10,445	10,125
貸倒引当金	△197	△224
流動資産合計	131,553	138,988
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,367	35,327
機械装置及び運搬具（純額）	16,689	19,698
その他（純額）	16,126	18,977
有形固定資産合計	67,183	74,003
無形固定資産		
のれん	1,135	751
その他	2,765	2,378
無形固定資産合計	3,901	3,129
投資その他の資産		
投資有価証券	19,878	25,742
その他	2,070	2,685
貸倒引当金	△22	△42
投資その他の資産合計	21,926	28,385
固定資産合計	93,012	105,518
繰延資産	139	154
資産合計	224,705	244,662

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,108	14,748
短期借入金	6,683	11,872
未払法人税等	2,378	2,343
その他	15,687	16,792
流動負債合計	39,857	45,757
固定負債		
長期借入金	9,625	6,298
退職給付引当金	951	447
負ののれん	211	99
その他	13,605	14,771
固定負債合計	24,394	21,616
負債合計	64,251	67,374
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,932	14,932
資本剰余金	17,265	17,265
利益剰余金	115,205	124,984
自己株式	△851	△896
株主資本合計	146,552	156,285
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,343	5,861
為替換算調整勘定	341	3,664
その他の包括利益累計額合計	3,685	9,525
少数株主持分	10,216	11,476
純資産合計	160,454	177,288
負債純資産合計	224,705	244,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	118,482
売上原価	66,454
売上総利益	52,027
販売費及び一般管理費	33,794
営業利益	18,233
営業外収益	
受取利息	41
受取配当金	387
負ののれん償却額	112
持分法による投資利益	369
為替差益	1,772
その他	595
営業外収益合計	3,279
営業外費用	
支払利息	158
その他	440
営業外費用合計	599
経常利益	20,913
特別利益	
固定資産売却益	98
特別利益合計	98
特別損失	
固定資産処分損	475
減損損失	63
投資有価証券評価損	0
特別損失合計	538
税金等調整前四半期純利益	20,472
法人税、住民税及び事業税	5,343
法人税等調整額	675
法人税等合計	6,018
少数株主損益調整前四半期純利益	14,454
少数株主利益	1,054
四半期純利益	13,400

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,454
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	2,515
為替換算調整勘定	3,827
持分法適用会社に対する持分相当額	3
その他の包括利益合計	6,346
四半期包括利益	20,800
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	19,241
少数株主に係る四半期包括利益	1,559

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	機能化学品 事業	医薬事業	セイフテ ィシステ ムズ事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	54,343	39,066	19,862	113,271	5,210	118,482	—	118,482
セグメント間の内部売上 高又は振替高	81	—	—	81	79	160	△160	—
計	54,424	39,066	19,862	113,352	5,289	118,642	△160	118,482
セグメント利益	8,726	8,855	4,020	21,602	945	22,548	△4,314	18,233

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△4,314百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,331百万円、セグメント間取引消去16百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。